

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年1月16日

1. 職名・氏名 教授・池田英二

2. 学位 学位 博士、専門分野 医学、授与機関 金沢大学、授与年月 2000年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究(4)4年通年	
②内容・ねらい（自由記述） これまで学んできた社会福祉学の4年間のまとめとして、自ら選んだテーマに沿って自主的に研究を進め、より充実した卒業研究の作成を目指す。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 新型コロナウイルスの影響で当初予定していた研究ができず、急遽予定変更したが、指導を随時メールなど遠隔で実施するなどの工夫により期限内に論文を完成させることができた。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎演習(2)2年通年	
②内容・ねらい（自由記述） 社会的な諸問題を取り上げ、情報を収集し、整理し、発表資料を作成する。そしてそれを元に効果的な発表を行い、全員で問題解決に向けた討論を行う。演習科目であり、受講者が自ら主体的に運営する。なお、前期は国際機関などが発行している基礎的資料の輪読も実施する。発表者の時は、自ら調べたこととそれに基づく意見を、他の受講生にわかりやすく説明できるようになる。発表者でない時には、発表に対する疑問点や自らの意見を適切に表明できるようになる。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 前期は完全な遠隔授業となったため、LMSを用いて英文資料の輪読とした。さらに、後期は前期の遠隔授業に対する評価や新型コロナウイルス感染症と人権など、すぐそこで起こっている問題を取り上げ議論することで、より身近に福祉を考えられるように配慮した。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健Ⅱ(2)2年後期	
②内容・ねらい（自由記述） 現代社会の精神保健上の諸問題を、ライフサイクル(ライフステージ)、社会的場面などの面から、特に身近な話題を取り上げ、その課題・対策について学ぶ。また、関連する法令についても取り上げる。疾病性(病気の問題)のみならず、事例性(実生活での問題)の観点から、適切な支援を考えることができるよう、各種法令との関連も説明できるようになることを狙いとした。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ライフステージ、社会的場面毎に見られる精神的な問題を学生自身で取り上げ、調べ、発表してもらうことで、より深い理解ができるようにした。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神医学Ⅰ(2)1年前期	
②内容・ねらい（自由記述） 精神医学の歴史から、基盤となる脳の解剖生理、症状や検査法、治療法を概説したのち、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、症例を適宜提示し、	

受講生同士による症例検討を実施。 精神医学Ⅱと合わせて、代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようになれることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 完全遠隔授業であり、受講生の負担を考慮し、LMS も用いた資料配布、課題回答（課題は択一式で 1- 3 問のみ）形式とした。質問はシステムを通して随時メールで受けたが、翌日までに回答した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神医学Ⅱ(2) 1 年後期
②内容・ねらい（自由記述） 精神医学Ⅰのつづき。特に、個別の精神疾患について、視聴覚教材を使用しながら全般的に講義する。また、制度的な面も最後に学習した上で、総合的な症例検討を通して知識の定着と応用を行う。 精神医学Ⅰと合わせて、代表的な精神障害の成因、症状、治療について生物学的、心理学的、社会学的な観点から理解し、多面的なアプローチができるように広範な基礎知識を習得する。そして、それらの基礎的知識を総動員し、事例検討を通して全人的な患者理解と効果的な支援とは何かを考えられるようになれることを目標とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 講義資料は LMS に事前にアップし、予習の便宜を図った。また、映像資料も利用することで、リアリティーを持って学習できるように配慮した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 精神保健学特論(2) 院 1 前期
②内容・ねらい（自由記述） 精神症状や検査法、治療法を再確認したのち、ライフステージをもとに個人から社会まで広い視野で精神疾患について考える。精神疾患に関する知識を、ライフステージを軸にして生物学的（Bio）- 心理的（Psycho）- 社会的（Social）の各側面から考えていく。特に、受講生自身の身近な問題を通じ、自ら疑問を調べ、解決できるようになることをねらいとする。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 完全遠隔授業であり Google Classroom を用いた。受講生の時間的制約に配慮し、資料配布、課題回答の形式とし、質問などは随時受付、原則翌日までに返答した。
(2)その他の教育活動
内容 埼玉大学非常勤講師（後期遠隔）精神保健 清泉女学院大学非常勤講師（夏季集中遠隔）精神医学

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0本】
② 学術論文（査読あり）	【0本】
③ その他論文（査読なし）	【0本】
④ 学会発表等	【0件】
⑤ その他の公表実績	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- ④富山県庁高ストレス者面談(2020年12月～2021年2月)
⑥開放講義 鯖江高校1年生 2020年11月6日

6. 大学運営への参画

(1)補職

保健管理センター副センター長 (2019年4月～現在に至る)
学校医 (2018年4月～現在に至る)

(2)委員会・チーム活動

新型コロナウイルス感染防止対策チーム (2020年2月～現在に至る)
新型コロナウイルス感染防止対策会議 (2020年2月～現在に至る)
永平寺キャンパス放射線安全委員会 (2018年4月～現在に至る)
衛生委員会 (2018年4月～現在に至る)
保健管理センター運営会議 (2018年4月～現在に至る)

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など